

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	水道事業の経営健全化推進			
担当部・課名	上下水道局 財政課	評価者 (課長)	徳原 克志	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	水道事業	事業の目的 (意図)	持続可能な事業運営を行う
事業の内容 (手段)	毎年度定期的に事業内容の検証・精査を行い、経常経費や投資的経費の削減を図る		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
経常収支比率		総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。比率が高いほど収益性が良いとされる	%		111.0	107.6	110.0
					115.2	112.7	
					103.8%	104.7%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円					
	うち一財	千円					
直接事業費 (決算額)	千円					対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	23,696	23,446			
	人工数	人	3.20	3.20	3.20		
	支出コスト	千円	決) 23,696	決) 23,446			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	料金収入が減少傾向にあるとともに、大量の資産が更新時期を迎えていることから、効率的で効果的な事業を推進するため、実施計画の見直しを行っている 平成27年度には経営健全化計画を策定した	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 簡易水道の統合により、さらに経営状況が厳しくなることが予測されることから、徹底した取り組みによる一層の健全化が必要
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	経営健全化に向けた職員の意識付けを徹底し、実施計画の見直しを予算に反映させるとともに、経費削減を図る	評価責任者コメント	経営健全化計画目標達成向け、企画調整課との連携を図りつつ、短期的な実施計画のローリングを行うことが重要である。さらに、平成30年7月から新庁舎に移転することから、業務統合等の効率化の検討を行う必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
大迫田浄水場運転業務の委託により、人件費を削減(△5人) 一の井手浄水場の浄水処理中止により、維持管理費を約720万円削減 実施計画の見直しにより、建設改良費を年間10億円ベースとして予算に反映した	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	経常収支比率の安定確保	収益性の安定確保	効果的な資金運用等による収入の確保、民間活力の導入や利息の削減等による支出の抑制	否	1.60		
②	事業運営の見直し	経営の安定化を図り、持続可能な事業経営を推進する	事業費の平準化や事業内容の検証・精査を行い、実施計画、財政計画を見直す	否	1.60		
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	下水道事業の経営健全化推進			
担当部・課名	上下水道局 財政課	評価者 (課長)	徳原 克志	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	下水道事業	事業の目的 (意図)	持続可能な事業運営を行う
事業の内容 (手段)	毎年度定期的に事業内容の検証・精査を行い、経常経費や投資的経費の削減を図る		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					経常収支比率	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。比率が高いほど収益性が良いとされる	%
					実績値	103.6	104.2
					達成度(%)	98.7%	98.3%

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円				
	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円				対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円				28年度は経営戦略策定のため増	
	正職員人件費	千円	23,696	30,773			
	人工数	人	3.20	4.20	3.20		
	支出コスト	千円	決) 23,696	決) 30,773			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	使用料収入が減少傾向にあるとともに、大量の資産が更新時期を迎えていることから、効率的で効果的な事業を推進するため、実施計画の見直しを行っている 平成27年度には経営健全化計画を策定、平成28年度は経営戦略を策定した	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 今後の施設更新に備え内部留保資金を確保しながら、一般会計繰入金金の削減を図る必要がある
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	経営健全化に向けた職員の意識付けを徹底し、実施計画の見直しを予算に反映させるとともに、経費節減を図る	評価責任者コメント	経営健全化計画及び下水道経営戦略の目標達成向け、企画調整課との連携を図りつつ、短期的な実施計画のローリングを行うことが重要である。さらに、平成30年7月から新庁舎に移転することから、業務統合等の効率化の検討を行う必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
補助事業の本要望にあたっては、内容等を精査して事業費を減額し、当初予算へ反映させた また内部留保の活用等により、一般会計繰入金金の削減を図った	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	経常収支比率の安定確保	収益性の安定確保	効果的な資金運用等による収入の確保、民間活力の導入や利息の削減等による支出の抑制	否		1.60	
②	事業運営の見直し	経営の安定化を図り、持続可能な事業運営を推進する	事業費の平準化や事業内容の検証・精査を行い、実施計画、財政計画を見直す	否		1.60	
③	経営戦略の策定	経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る	将来にわたり安定的に下水道事業を継続できるよう、経営の基本計画となる経営戦略を策定する	否		1.00	
④							
⑤							